

じんけん へいわ 豊中 通信

No. 3
2021.5



高齢者事業の様子（豊中）



こども事業での作品（豊中）



こども事業の様子（豊池）



老人憩の家でパネル展（豊中）

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）
〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7 人権平和センター豊中内
TEL：06-6841-5300 FAX：06-6841-6655
Mail：bwz37306@nifty.com HP：http://toyoin.secret.jp/



6月1日

人権平和センター豊中が リニューアルオープンします!!

人権平和センター豊中では、施設および空調設備の老朽化に伴い、昨年11月から空調設備改修工事を行ってきましたが、このほど完了しました。床や壁紙、照明などが一新されました。

3階「平和展示室」もリニューアルオープン!!

戦時中の76年前に豊中で何が起こったのか、今も豊中に暮らしている人が何を体験したのかを「伝える」ことにこだわりました。地元豊中にこだわった展示、事実を即した展示を行います。

あわせて、なぜ戦争が起きたのか、無差別爆撃の歴史や背景についても考えられるように工夫しました。一緒に平和について考えてみませんか。



◆展示室1◆

約3メートルの米軍戦闘機P-51の主翼（右翼）の一部（豊中に墜落した残骸）や豊中空襲で使用された全長2メートル以上の1トン爆弾の実物大の模型も新たに展示しています。また、旧日本軍軍用機の下に取り付けるために作成されたと思われる追加の燃料タンク「落下増槽（左の写真）」も期間限定で展示します。



このほか、終戦直後と現在の豊中市の地図を比較したり、当時、出征を見送った旗や、空襲警報の木札、米やパンなどの配給台帳（見本複製）などの実物資料もたくさん展示しています。

◆展示室2◆

新たに「映像室」を設けました。豊中空襲の被災体験や広島・長崎での被爆体験、戦後混乱期の証言などを聞くことができます。

展示室の壁には、豊中空襲や大阪大空襲の被災の様子を写した写真をタペストリーとして展示。当時の被害の状況を感じることができます。

◆展示室3◆

企画展示室として設けました。定期的に展示内容を変更します。6月1日（火）～6月22日（火）は、ピースおおさか（大阪市中央区）の協力を得て、企画展「大阪大空襲を考える」を開催します。

◆ロビー◆

平和に関する絵本のコーナーを新しく設けました。椅子に座って、ゆっくり読んでいただけます。100冊以上の絵本の中からお気に入りの一冊を探してみてください。

人権平和センター豊中では…

5月6日から「一般社団法人キャリアブリッジ」が一時移転で入居しました。2022年（令和4年）3月31日までの期間限定です。不登校、ひきこもり、就職、生活全般など、広く若者支援を行っています。TEL：06-6151-2244 HP：<https://career-bridge.info/>

児童養護施設「翼」に行ってきました

4月16日に実施された人権文化まちづくり講座では、25人の参加者とともに宝山町にある児童養護施設「翼」の見学に行きました。主任の土井聡子さんのお話や施設見学をとおして、児童養護施設の歴史や子どもたちが置かれている状況、社会的養護の必要性について学ぶことができました。



「翼」は豊中市の公募により、2018年に豊能地区で初めて宝山町に開設された児童養護施設です。今では、施設として地域や学校行事などにも積極的に参加したり、地域ボランティアが施設運営を手伝うなどの交流をしています。



児童養護施設は、2011年に施設最低基準等が見直され、これまでの大きな施設に子どもを入所させるという考えから小・中規模でのより家庭的な施設をめざす方向へと変わりました。2016年には児童福祉法が改正され、子どもが権利の主体であり、子どもの福祉を保障するための原理を明確化し、より家庭的養育が推進されるようになりました。2017年には新しい社会養育ビジョンが出され、里親への委託率を75%に上げることが目標にされています。しかし大阪は約14%と程遠く、豊中市でも措置児童数に対して里親の数が圧倒的に足りていない状況です。

また、子どもたちの施設入所理由については、かつては戦争孤児が多く、昭和後期には生活苦による離婚やサラ金問題、現在では虐待（身体的、心理的、ネグレクト、性的）が6割以上を占めているとのことです。

参加者から運営費についての質問がありましたが、児童養護施設のほとんどが民設民営で、措置費・事業費（人件費含む）などの費用は国や府からまかなわれています。

「翼」では子どもたちが主体的に成長発達で

きるよう援助し、「愛される存在」「大切な存在」として自己肯定感をもてるよう育てています。例えば小さな「自己決定」としておやつや服を自分で選び、学習支援では「できた喜び」を感じることを大切にしているそうです。子どもたちの部屋は一人部屋で、ベッドや勉強机があり、明るく子どもらしい「自分の場所」が確保されていました。また厨房はガラス張りになっていて、食事を誰がどのように作っているかが見えるようになっていました。時には一緒に食事を作ることもあるそうです。

今回の施設見学には定員を超えるたくさん参加申し込みがあり、社会的養護に対する市民の関心が高まっていることを感じました。当事者の子どもたちは虐待する親



に「やめて」と言うことが難しいこと、誰かに「助けて」となかなか言えないことを社会は重く受け止めないとはいけません。また（緩和措置は取られるようになりましたが）18歳で施設を出ていく子どもたちのアフターケアにも力を入れているとのことですが、社会に適応して収入を得て生活していくにはもっと長い支援が必要です。私たちは厳しい状況に気づき、子どもたちにもっと目を向け、手を差し伸べて社会を変えていかなければならないと感じました。

（とよなか人権文化まちづくり協会評議員）

「絵本作家のお話から学んだこと」

私たちは普段から当たり前のようにお肉を購入し、当たり前のように食べています。これらがもともと生きて牛や豚（生きて動物）だということを知らない人はおそらくいないと思います。でも、生きて牛や豚がどのようにして牛肉や豚肉になって私たちの食卓にならんでいるのか、どのような場所でどのような作業がおこなわれているのか、どのような人たちが作業に携わっているのかについて、詳しく知っているという人は果たしてどれだけのいるでしょうか。



2月19日に中央公民館で行われた2020年度ひゅうまんプラザ講演会では、「僕は絵本の中で初めて出会った～絵本の取材で見た食肉業と差別～」をテーマに、豊中市在住の絵本作家・中川洋典さんから絵本の取材をとおして出会った（知った）食肉業に携わる人たちとのさまざまなエピソードについて、それから、未だに根強い食肉業への差別や偏見についてお話いただきました。

私自身、社会に食肉業（屠畜）の人たちに対す

る差別意識があること、屠畜の歴史には被差別部落の歴史も関わっているということ、そして、かつては豊中にも屠畜場があったことなどは知っていましたが、牛がどのような過程で解体・加工され肉になっていくのかについてや、職人さんたちの仕事に対する思いやこだわりなど、今回の中川さんのお話をとおして初めて具体的に知ることができました。人前でも披露されるマグロの解体と、なるべく見せないようにされる牛の解体との「違い」についてのお話は、これまでその「違い」について考えたこともなかったのでもとも印象的でした。

また、食肉業に携わる人たちへの差別や偏見についてのお話では、自分自身が「きちんと見ようとしていない（知ろうとしていない）部分」について改めて気づかされる機会になりました。

食肉業への差別と同様に、私たちの社会では正しく知られていないがためにさまざまな差別や人権侵害が起こっています。私たち一人ひとりがさまざまな方法で正しい情報を学んでいき、それを少しずつでも社会に広めていくことが大切だと思いました。

（とよなか人権文化まちづくり協会）

資料室 図書のご案内

人権平和センター豊中資料室では、コラムで紹介した絵本作家・中川洋典さんの関連図書の貸出しを行っています。貸出しを希望される場合は、協会事務局までお申し出ください。

「焼肉を食べる前に。」

著：中川洋典 発行：えるくらぶ

生きて動物の肉体が職人たちの手で食べ物になっていく。「普通の仕事」と、職人たちは言った。お肉の職人たちを訪ね、丁寧にインタビューしていった絵本作家による職人たちの仕事への思い喜び悩みを丹念に伝える一冊。



「きみの家にも牛がいる」

作：小森香折 絵：中川洋典 発行：えるくらぶ

牛を飼っていないなくても、きみの家に牛がいなくても、きみの家に牛がいなくても、牛乳や食肉、革製品など、さまざまなかたちとなって、牛が私たちのそばにいる。人間と牛との関わり方を、ユーモラスな絵とともに紹介する絵本。



とよなか都市創造研究所より

マジメに楽しむ、実践の場

7月開校予定

2021年度とよなか地域創生塾 募集説明会

とよなか地域創生塾とは

地域にあるニーズを見出し、多様な仲間と一緒に考えあい、実現へとつなげていく「実践の場」です。
1年間全14回のカリキュラムを通して、企画力と実践力を身につけます。

第1回
説明会

6月2日(水) 19:00～

会場：人権平和センター豊中 大集会室
定員：20名 申込締切：6月1日(火)

第2回
説明会

6月5日(土) 14:00～

会場：人権平和センター豊中 大集会室
定員：20名 申込締切：6月4日(金)

※受講を希望される方は必ず上記どちらかの説明会にご参加ください。ご都合が合わない方は有限会社協働研究所(06-6842-9020)までご相談ください。

カリキュラム(全14回)

オリエンテーション	講座の進め方について説明します。
個人企画 (全4回)	企画書の作り方やコミュニティビジネス・市民活動の事例を学びながら、企画作成の力を養います。
グループ企画 (全7回)	グループで地域の魅力づくりや課題解決にむけた事業計画書を作成します。
理論講座 (全2回)	地域課題の解決にむけて、必要な知識と理論を学びます。



※カリキュラムの詳細(日時や内容)は下記QRコードのどちらからでも閲覧・確認できます。

●募集説明会への申込み・問い合わせ

有限会社協働研究所(事業委託者)

TEL: 06-6842-9020 FAX: 06-6836-9861



●主催・とよなか地域創生塾全般の問い合わせ

とよなか都市創造研究所

TEL: 06-6858-8811 Mail: tium@tcct.zaq.ne.jp



科 母 虫 母 科 母 虫 母 科 母 虫 母 科 母 虫 母 科 母 虫 母

人権平和センターのこども事業について

(一財)とよなか人権文化まちづくり協会では、人権平和センター豊中・螢池を拠点に、市内の小・中学生(螢池では高校生も含む)を対象に、出会いの場やふれあいの場としての居場所を提供しています。遊びや学習も含めた様々な体験・交流の機会を持つことで、こどもたちの自己肯定感や自尊感情を育むとともに人との関わりやつながりの中で人権感覚を磨き、自分らしく生きる力を育む機会としています。ぜひ遊びに来てください。

こどもの学び・居場所事業

(人権平和センター豊中)

問合せ：06-6841-5300



開館日・時間：月曜～金曜日は14時～17時

毎週土曜日・小中学校の春休み、夏休み、冬休み期間は10時～17時

※6月1日(火)から人権平和センター豊中での実施を再開します。

今後、活動時間が変更になる予定です。その際は改めてお知らせします。

こども多世代ふれあい事業

(人権平和センター螢池)

問合せ：06-6841-2315



開館日・時間：月曜～金曜日は14時～17時

毎週土曜日・小中学校の春休み、夏休み、冬休み期間は10時～17時

※6月1日(火)から下記のとおり活動時間が変更になります。

開館日・時間：月曜～金曜日は15時～18時

毎週土曜日・小中学校の春休み、夏休み、冬休み期間は10時～17時

相談窓口のご案内

ひとりで悩んでいませんか？まずはお電話ください

人権相談 ☎ 06-4865-3655

月・水・金曜日の9時～17時(日曜・祝日をのぞく)

総合生活相談 ☎ 06-4865-3713

火・木・土曜日の9時～17時(日曜・祝日をのぞく)

※面談での相談は事前予約が必要です。





インフォメーション



<p>人権文化まちづくり講座 6月12日(土) ①10時～②14時～</p>	<p>映画「プリズン・サークル」上映会 (1日2回上映) 会場：人権平和センター豊中</p>	<p>刑務所で暮らす受刑者に密着した日本初のドキュメンタリー映画(136分)の上映。 定員：各100人(要申込)</p>
<p>世界人権宣言豊中連絡 会議記念講演 6月17日(木) 14時30分-16時 30分</p>	<p>世界人権宣言とSDGs お話：松岡秀紀さん(ヒューライツ 大阪特任研究員) 会場：人権平和センター豊中</p>	<p>SDGs(持続可能な開発目標)が掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現に向けて、私たち一人ひとりにできる取り組みについて考える。定員：40人(要申込)</p>
<p>人権文化まちづくり講座 6月26日(土) 14時-16時</p>	<p>自分と向き合う対話のチカラ お話：藤岡淳子さん(島根あさひ社会 復帰促進センター教育アドバイザー) 会場：人権平和センター豊中</p>	<p>犯罪加害者の回復支援プログラムに取り入れられている「えんたく」を実践し、自分自身と向き合い、対話する力を身につけていく講座。定員：40人(要申込)</p>
<p>啓発パネル展 7月6日(火)～28 日(水)</p>	<p>知っていますか？部落問題 Q&Aと差別の事例紹介 会場：人権平和センター豊中</p>	<p>部落問題の現状や課題、差別の状況について紹介・解説するパネル展。</p>
<p>啓発パネル展 ①8月4日(水)～ 14日(土) ②8月18日(水) ～28日(土)</p>	<p>きくっちゃんの紙芝居 原画展 会場：①人権平和センター豊中(8 月4日～14日) ②人権平和センター螢池(8月18 日～28日)</p>	<p>創作紙芝居作家・菊地和美さんによる紙芝居の原画作品を展示。</p>
<p>ふれあい交流会 8月13日(金) 13時30分-15時</p>	<p>世代間平和交流「平和ってなあに？ 一緒に考えてみよう！(仮)」 出演：菊地和美さん(創作紙芝居作家) 会場：人権平和センター豊中 老人憩の家</p>	<p>高齢者と子どもと一緒に戦争の恐ろしさや平和の大切さについて考える世代間交流会。定員：30人(要申込)</p>
<p>じんまち☆シネマ 8月14日(土) ①10時～②13時 30分～</p>	<p>とよなかシネコン For Kids 映画「100ばんめのサル」ほか (1日2回上映)</p>	<p>偶数月の第2土曜日に実施している映画上映会。定員：各100人(申込不要)</p>

すべて参加無料です。参加の際はマスクの着用にご協力ください。新型コロナウイルスの感染状況により、事業の延期や中止またはオンラインのみでの開催になる可能性があります。ご了承ください。人権文化まちづくり講座の申込みは、(一財)とよなか人権文化まちづくり協会のホームページからも可能です。



人権平和センター豊中（豊中市岡町北 3-13-7）

TEL：06-6841-1313 FAX：06-6841-1310

部屋名 \ 時間	午前 9 時～ 午前 12 時	午後 1 時～ 午後 5 時	午後 6 時～ 午後 10 時	午前 9 時～ 午後 10 時
ホール（228 人）	6,500 円	8,000 円	8,000 円	22,500 円
第 1 小集会室（24 人）	1,400 円	1,800 円	1,800 円	5,000 円
第 2 小集会室（24 人）	1,400 円	1,800 円	1,800 円	5,000 円
大集会室（54 人）	2,200 円	2,900 円	2,900 円	8,000 円
料理室（20 人）	1,600 円	2,200 円	2,200 円	6,000 円
第 1 学習室（24 人）	1,400 円	1,800 円	1,800 円	5,000 円
第 2 学習室（24 人）	1,400 円	1,800 円	1,800 円	5,000 円

人権平和センター螢池（豊中市螢池北町 2-3-1）

TEL：06-6841-5326 FAX：06-6841-8899

部屋名 \ 時間	午前 9 時～ 午前 12 時	午後 1 時～ 午後 5 時	午後 6 時～ 午後 10 時	午前 9 時～ 午後 10 時
ホール（180 人）	2,800 円	3,600 円	3,600 円	10,000 円
講座室（24 人）	1,000 円	1,500 円	1,500 円	4,000 円
料理室（16 人）	1,000 円	1,400 円	1,400 円	3,800 円

人権平和センターの設置趣旨に沿った利用（人権啓発や住民の交流活動など）は、使用料が減免になる場合があります。詳細については各センターにお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、利用人数の制限を行っています。

※市外居住利用者は、使用料が 10 割加算になります。

●あとかき●

2021 年度を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染拡大はいまだに収束の気配を見せません。4 月 25 日には三度目の緊急事態宣言が発出されました。

変異ウイルスという新たな脅威、医療体制のひっ迫、なかなか進まないワクチン接

種のことなど、不安や恐怖、心配事ばかりで安心安全を実感する機会はほとんどありませんが、人権平和センター豊中のリニューアルオープンを迎える 6 月には、この状況が少しでも落ち着いていることを願っています。

（まちづくり協会事務局）